

大脳皮質を更に分けると新しい皮質と古い皮質に分けられる。以上述べた大脳の中で、人間のみに与えられたのは大脳の新しい皮質の発達で、そこには知識の宝庫があり、人間を特徴づける精神の動きがある。

人間は感情の動物であると言われるが、実は、それは人間特有のものではなく、下等動物的感情であって、人間はこの様な下等動物的感情に支配されてはならない。では人間と下等動物との相違はどこにあるのか。それは人間特有の知恵によって人間的喜びを創造し、この快い知的感情を抱いて、いつもニコニコして楽しく生きることである。知恵によって楽しい感情を自ら創造することこそ人間にのみ可能なことで、そここそ人間性がある。自分の身にふりかかる周囲の刺激に反応して、或は喜び或は怒り或は悲しむのは下等動物的感情であって、犬でも可愛がれば尾を振って喜ぶであろう。人間はそんな下等動物的感情に支配されることがなく、それよりも上位にある人間的喜び、知的感情を絶えず持つていなければならない。それでこそ日本人は失われた美しい心(人間性)をとりもどすことが出来るのではないかと思う。

さて知恵で考え創り出した人間的喜びとはどんな事なのであろうか。それは無限の可能性を秘める人間の脳細胞により創り出されるものであり、人々によりその喜びは無限に創り出され得るに違いない。試みに私個人の脳細胞により、私個人の知恵により、創り出した人間的喜びを次に述べてみよう。

まず私達人間の視先の生活に就いて想起して見る必要がある。人類の祖先は他の動物から身を護る為にも、又衣食住にも私達には想像も出来ない苦勞を重ねて来た。それに比べて現代に生きる私達は、衣食住とも人々の御世話になって暮らしている。人の世話になったら御恩返しをするのが、人間の道であり、人間は人間の道を歩むのが一番楽しい筈であって、そこに人間的喜びがある。而して社会に対する御恩返しとは、自分の職業に忠実であることである。家庭の婦人は家庭を護るにより、学生生徒は勉強して頭脳をきたえることによって、皆夫々社会への御恩返しをして、人間の道を歩んでいるのであるが、ただそれを人間的喜びと自覚してないのではないだろうか。これを各自が自覚し、その人間的喜びに浸って終日ニコニコして生活したら、人間社会は本当に平和になり、これこそその根本はロータリーの職業奉仕の精神に通じるのである。

◎出席報告

| | 会員数 | 出席人数 | 欠席人数 | 他クラブ出席人数 | 出席率(%) |
|-----------|--------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------|--------|
| 48. 6. 13 | 55名 | 39名 | 16名 | | |
| 48. 6. 6 | 55名 | 42名 | 13名 | 11名 | 96.36% |
| 在函クラブ | (5/29) 函館東R.C. 98.91% | (5/31) 函館R.C. 95.12% | (6/1) 函館(五)R.C. 100% | | |
| 月平均 | 函館東R.C. 98.48% | 函館R.C. 93.83% | 函館(五)R.C. 100% | 函館北R.C. 95.83% | |

★お知らせ

第368地区大会開催

10月20日 AM11:00より・10月21日 AM9:00より(於) 洲本市民会館
登録料 6,000円

★第452回例会欠席者

飯田、岩塚、熊谷、野村、関本、藤林、小笠原、成沢、佐々木、布目、山内(文)、北条吉井、佐藤、平山、石橋 (16名敬称略)

次回例会日 6月27日

プログラム「会長幹事、各委員会長退任挨拶」

The Weekly Report of Hakodate North R.C.

事務所

函館市大手町5-10

日魯ビル3階

☎.(0138) 23-3870



例会場 函館市大手町 5-10

国際ホテル TEL (0138) 23-8751

例会日 毎週水曜日 12:30-13:30

1973. 6. 27

1972~1973 第50号

第454回例会

Let's take a new look もう一度見直そう

(Roy D. Hickman R.I. 会長指針)

1973年
終り



(深瀬鴻一郎会員)

本日のプログラム

「会長幹事、各委員会長退任挨拶」

第453回例会記録

◎司会 市川 芳夫会長

◎斉唱 それでこそロータリー

◎ビジター 東京 芝R.C. 志摩 夕起夫君

青 森R.C. 小島 清健君

函 館R.C. 村上 正夫君 他7名

函 館 東R.C. 野木 良三君 他3名

函 館(五)R.C. 岡田 芳也君 他3名

亀 田R.C. 小山田日出夫君 他2名

●幹事報告

- 1、6月13日開られましたがクラブ・フォーラムの席上では時間がありませんでしたので、報告出来ませんでしたが、奉仕活動の報告書を文書で提出されますように本日各委員会の委員長さんに原稿用紙をさしあげましたので6月30日までに提出して下さい。ガバナー訪問が8月上旬にあると聞いておりますので、その時までに活動計画書と奉仕活動の報告書を併せて印刷したいと思っておりますので、よろしくお願ひ致します。
- 2、各委員会の委員長さんをお願いするのですが、未払いの伝票を持っておられる方は6月30日までに幹事のところに提出する様をお願いします。決算後になりますと支払い不能となりますので、御承知おき下さい。
- 3、新旧の会報委員会の方は本日例会終了後ロビーにお集まり下さい。

●親睦活動委員会

★ニコニコボックス報告

平山会員～五稜郭ハイイツの着工を記念して

俣野会員～ロザンヌのR.C.の年次大会に出席して無事帰国されましたので

藤林会員～御子息の結婚を記念して

●卓話「ロザンヌ大会と西欧の旅」 俣野 純夫会員

函館市内四つのクラブで編成して世界大会に出席するために、5月5日羽田をBOAC機で出発しました。総勢34名(函館クラブ18名(内女性7名)東クラブ7名(内女性2名)五稜郭クラブ4名(内女性1名)北クラブ2名(内女性1名)札幌クラブ2名(内女性1名)塔乗員1名計34名)。コースは北極廻りでロンドン→ベルリン→フランクフルト→パリ→ローザンヌ→ローマ→マドリードの順で、帰りはローマ→アテネ→ニューデリー→バンコック→ホンコン→羽田と南廻りで、5月23日夜帰りました。其の間見学しましたことに就て、一部申述べて見ますが、何しろ私は話下手で皆さんの御耳障りのことと存じますが、御許し願ひします。

ヨーロッパは以前ニースで大会がありました時、出かけましたので2度目の訪問ですが、その時とこの度のことを比較して見たいと存じます。ハイジャックの検査は各空港で厳重であり、時間も相当無駄のように思いました。羽田などはやさしいやり方ですが婦人でもカーテンの中に入れて探知機を使用しました。ロンドン空港では私が腹をたたいてゼスチャーをしました、係員も腹の出っぱった人で互に大笑してOKとって通過しました。

飛行機中で気のついた事は、従業員です。スチュアーデスが少なく、スチュアードが多いことは食事運搬など女の手では疲れるので、男性が従事するようになったと思われる。ベルリンで西かや東に観光に行く時以前は兵隊がパスポートの検査、所持金の申告などあり、椅子の下まで電灯で照して見たものですが、このたびは管理がアメリカになったので検査員が婦人で気軽であった。東ドイツは高層建築が沢山出来て異常の発展ぶりを示しておりました。社会福祉が大変進歩しているが、税金の15%を出しているとのことでした。(疾病—教育費は無料)

西ベルリンでは、自動車の数が増加して道路の両側に駐車して、まんなか一方通行になっていました。オリンピックスタジアムなどは工事で見せてくれませんでした。

フランクフルトは(人口70万)商業の中心地で整理された街で緑も多く、空港ではロードゲイトが46ヶもありました。ここではゲートの生家を見物し、それからマインツからサンゴア迄のライン河下りを3時間で楽しみました。有名なローレライの岩は森にかくれて話程立派でなく、立待岬の岩の方がよっぽど立派だね—という声もありました。

所々の古城(今はユースホテル)やブドー畑は珍らしく眺めました。ブドーの栽培はイタリアー・スペインと見学しまして、一本作り、一扇子作り、平家作り、防風作りと種類のあることを見て来ました。ライン河の向岸には、1,000米毎に標示があり、(イタリアの太陽道路と云いまして、ナポリまで520キロのハイウェイにも標示板がありました)。非常に便利なものと感心しました。ロンドンでは新しいビルが出来て、新旧建物がアンパラスのように見受けましたが、流石ロンドンの公園の緑は立派なもので、また好天にめぐまれ近衛兵交替も見られました。

巴里は自動車の置場が道路で駐車違反の罰金が駐車料よりもやすいので違反は増加するばかりで手をやいているとのことでした。ベルサイユ宮殿—ルーブル美術館—コンコルト広場—モンマルトル丘—セース河上りなどありました。5月10日丁度ホテルのストライキで、オペラ通りのルーブルホテルに変更して泊りました。買物ではオペラ座通りに三越が出来ており、安心してショッピングが出来ました。5月10頃には巴里には毎日1万人位の日本人が訪れているとの事でした。13日朝、リヨン駅からロータリー専用の国際特急車に乗り、ローザンヌに向いました。乗客は520人位で全部日本人でした。

南仏の平野をひた走りに走りましたが、駅に停っても乗客はない静かだ昔の軍用列車を思いました。窓外には牧場、小麦畑、菜畑と眺めつつ、丁度列車がドレー駅に近づいた時、土の見える畑で鳥の交尾を見つけました。支那で(誰れか鳥の雌雄を知らんや)という言葉があり、昭和17年頃満州にいる時ながく解決されなかったことが証拠を見つけました。矢張り雄が上であったことを確認しました。

13:30分頃、ローザンヌに到着、大会場に向いました。開会式は14:30分日本人の登録は4,800名とききました。道理で殆んど日本人の姿ばかりでローザンヌに来た気持がしませんでした。各国々旗の入場にはじまり、ローザンヌロータリー会長—ヒックマン R.I. 会長—ローザンヌ市長の挨拶、歓迎の言葉があり入場者は1万7千人位かと思えました。同時通訳のレシーバーをかけ案外よくききとれました。

会場内で函館組は何処かと探しましたが、頭の光る方があったので非常に楽をして探しあてました。背丈の低い事もその一つでした。ホスト会長は日本から多数出席されたことを感謝されました。世界平和のため、ロータリーの進む方向を指示されていました。式は2回に互ってくれ返されました。吾々の宿舎は130kmもあるツン湖畔メルリケンに指定されたので早々退場してバスでホテルビータスに夜8時着きました。

14日は本会議—ローザンヌ市への世界のめざめ、彫像の寄贈など、15日午さんがパレスホテルで開催され、ポールハリスフェローの招待がありましたが、時間の都合で出席出来ませんでしたので欠席しました。14日のスイスの新聞には100万円以上の時計が200ヶ売れた。これは日本人らしいと報道されました。ロンドンではニュージーランドのマトンが日本人が買占めやって市価をつりあげたとか日本人の評判はよくなかったようでした。むしろ恐れをなしているらしいでした。十年前のアメリカのやり方に似ている、やがて時代は変わって日本は経済的に苦しむだろうと予言しています。

インターラーケン鉄道を利用してユングフラウ観光—モンブラン観光をしました。スイスからイタリアー、スペインを廻り、闘牛→フラメンコを見物しました。イタリア空港の食堂はストライキで水一滴なくドロップでのどを守りました。通信のストライキもあり手紙などは1ヶ月かかる持って帰った方がよろしいと教えてくれました。飛行機内食事が付違しかった次第でした。23日夜、アリアア機で全員無事羽田に到着しました。

★地区優秀奉仕活動賞について

当地区において、かねてかわ1ロータリー年度内の地区内クラブの奉仕活動のうち優秀なものに対して、当該年度の地区ガバナーが賞を贈呈することとなっている。

しかし、この制度に関して地区内のクラブからインターシテイ・ゼネラル・フォーラ

ムなどの際に、次のような意見が述べられていた。

1、表彰される場合の基準をはっきりして欲しいこと。

2、個人の表彰に対しては疑問があること。

また、この表彰を受けるクラブの範囲が年を追って拡大される傾向にあることも、地区内ロータリアンの間では是非が論じられているので、この際、新しく見直される問題の一つとして考えるべきことである。

ここにおいて、本年度の「地区各委員会に関する規約、中、第18条Ⅳ項において、地区優秀奉仕活動賞審査委員会を定めてあるので、その規定に基づき、来るべき地区協議会においてその基準を定めることが必要となっている。

ただ、このような制度における基準の設定は関係する因子が複雑多岐に亘るので、困難なことであり、その表現は抽象的とならざるを得ないが、国際ロータリー理事会が「意義ある業績賞」を定めている経緯に鑑み、地区内クラブの優秀な奉仕活動は将来、「意義ある業績賞」の候補となり得るものであると信じられるから、その基準を準用することが、より適切な処置と考えられる。

●出席報告

| | 会員数 | 出席人数 | 欠席人数 | 他クラブ出席人数 | 出席率(%) |
|-----------|-------------------------|------------------------|-------------------------|----------|--------|
| 48. 6. 20 | 55名 | 41名 | 14名 | | |
| 48. 6. 13 | 55名 | 39名 | 16名 | 14名 | 96.36% |
| 在函クラブ | (6/5) 函館東R.C. 98.93% | (6/7) 函館R.C. 90.98% | (6/8) 函館五稜郭R.C. 100% | | |

★第453回例会欠席者

大嶋、飯田、岩塚、大井、小村、成田、野村、小笠原、成沢、佐々木、本間(隆)、駒井山内(文)

次回例会日 7月4日

プログラム「会長幹事、各委員長就任挨拶」

プログラム 予定 7月11日「最近の石油事情」 山内 文雄会員

プログラム 予定 7月18日「下郡山会員のお話」